

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
インターンシップ (Internship)	選	企業等関係者	第 1 , 2 学年 メカトロニクス工学専攻	学修単位 2	集中研修							
授業概要	国、地方公共団体、企業、大学院において、メカトロニクス工学に関わる技術の研修・実習を 1 0 日 (8 0 時間) 以上行う。											
到達目標	実社会において、メカトロニクス工学の専門的技術の重要性や技術の具体的な活用方法を習得する。 (C-d2,g)											
評価方法	実習報告書の内容をもとに判断・認定する。											
教科書等												
内 容	(1 1 0 分授業を 1 5 回実施する。なお、1 回 の自宅演習は 2 4 0 分を目処にする。)				学習・教育目標							
第 1 回	4 - 7 月 : インターンシップ内容の説明 (自宅演習)				C							
第 2 回	和歌山県インターンシップ制への登録 (自宅演習)				C							
第 3 回	受け入れ機関の紹介 (自宅演習)				C							
第 4 回	実習申込み・決定 (自宅演習)				C							
第 5 回	8 9 月 : 実習 (自宅演習)				C							
第 6 回	実習報告書作成 (自宅演習)				C							
第 7 回	9 - 1 2 月 : 実習報告書提出 (自宅演習)				C							
第 8 回	(自宅演習)				C							
第 9 回	(自宅演習)				C							
第 1 0 回	(自宅演習)				C							
第 1 1 回	(自宅演習)				C							
第 1 2 回	(自宅演習)				C							
第 1 3 回	(自宅演習)				C							
第 1 4 回	(自宅演習)				C							
第 1 5 回	(自宅演習)				C							
第 1 6 回	1 月 : 大学院でのインターンシップ申し込み (自宅演習)				C							
第 1 7 回	2 月 : 配属先決定 (自宅演習)				C							
第 1 8 回	3 月 : 実習 (自宅演習)				C							
第 1 9 回	実習報告書作成 (自宅演習)				C							
第 2 0 回	4 月 : 実習報告書提出 (自宅演習)				C							
第 2 1 回	(自宅演習)				C							
第 2 2 回	(自宅演習)				C							
第 2 3 回	(自宅演習)				C							
第 2 4 回	(自宅演習)				C							
第 2 5 回	(自宅演習)				C							
第 2 6 回	(自宅演習)				C							
第 2 7 回	(自宅演習)				C							
第 2 8 回	(自宅演習)				C							
第 2 9 回	(自宅演習)				C							
第 3 0 回	(自宅演習)				C							
(特記事項) 9 0 分授業の場合は、上記内容を を 1 5 週間に 1 8 回の授業で行う。		JABEE との関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a)d)	d2b)c)	e	f	g	h
		本校の学習 ・教育目標	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B

合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

インターンシップ

メカトロニクス工学の技術について、実社会での具体的な活用方法や技術習得の重要性を体験する。学外実習の概要は次のとおりである。

1. 企業等の場合

実習機関の決定

4 - 7月：学外実習内容の説明

和歌山県インターンシップ制への登録

受け入れ機関の紹介

実習申込み・決定

実習・体験学習

8 - 9月：実習

実習報告書作成

実習報告書の提出

10 - 12月：実習報告書提出

2. 大学院の場合

実習機関の決定

1月：大学院でのインターンシップ申し込み

2月：配属先決定

実習・体験学習

3月：実習

実習報告書作成

実習報告書の提出

4月：実習報告書提出